

平成 29 年度第 1 回弘前市特別職報酬等審議会議事録【概要】

開催日時 平成 29 年 12 月 15 日（金）14:30～15:45

開催場所 弘前市役所 前川新館 5 階 会議室

出席委員 大場勉委員、齊藤嘉春委員、佐藤譲委員、佐藤芳子委員、谷川浩二委員、
三上ナツエ委員、相馬満敏委員 計 7 名

欠席委員 阿部精一委員、日景弥生委員

事務局 竹内経営戦略部長、番場人材育成課長、川辺人材育成課長補佐、
鳴海人材育成課総括主査、片岡人材育成課主事 計 5 名

会議次第

1 市長挨拶

2 組織会

- | | |
|-----------|------------|
| (1) 仮議長選出 | → 三上ナツエ委員 |
| (2) 会長互選 | → 齊藤嘉春委員 |
| (3) 会長挨拶 | → 齊藤嘉春会長 |
| (4) 副会長互選 | → 三上ナツエ委員 |
| (5) 副会長挨拶 | → 三上ナツエ副会長 |

3 諮問書提出

4 配付資料の説明

5 審議

6 その他

審議会議事要旨

○資料説明

事務局から、事前配付資料及び下記の

- ・資料 1 県内経済情勢報告（平成 29 年 10 月）
- ・資料 2 平成 28 年産りんご販売額について
- ・資料 3 りんご生産情報第 14 号（最終）
- ・資料 4 平成 28 年産水稲の作付面積及び 9 月 15 日現在における作柄概況（青森）
- ・資料 5 財政力指数に関する調
- ・資料 6 広報ひろさき（平成 29 年 4 月 1 日号）
- ・資料 7 広報ひろさき（平成 29 年 12 月 1 日号）
- ・資料 8 住民基本台帳人口の推移（S 53 年～H29 年）
- ・資料 9 平成 27 年度弘前市特別職報酬等審議会答申書（写）
- ・資料 10 平成 17 年度以降の審議会での特別職の給料・報酬の改定の考え方
- ・資料 11 特別職・指定職国家公務員、議員等の俸給（歳費）の状況
- ・資料 12 弘前市特別職の給料・報酬額
- ・資料 13 旧三市特別職給料・報酬支給割合調書
- ・資料 14 特別職の給料・報酬月額推移に関する調
- ・資料 15 一般職の給与改定の推移に関する調
- ・資料 16 市長・副市長の給料に関する調
- ・資料 17 平成 28 年度市長・副市長活動状況
- ・資料 18 市議会議員の報酬に関する調
- ・資料 19 市議会議員の議会活動状況
- ・資料 20 市議会議員の政務活動費について
- ・資料 21 旧三市市長・副市長退職手当支給割合調書
- ・資料 22 市長・副市長の退職手当の推移に関する調
- ・資料 23 市長・副市長の退職手当に関する調
- ・資料 24 改定の実施時期について
- ・資料 25 弘前市特別職の職員の給料等に関する条例
- ・資料 26 弘前市議員報酬、費用弁償等の額及びその支給方法条例
- ・資料 27 弘前市特別職の職員の退職手当支給条例

について説明。

○主な質疑応答等

委員

事前配付資料の2ページの「(2)改定にあたって考慮してきた要素」について、一般職の給料の改定率が平成29年度は0.2%とあったが、その前の平成28年度はいくらになるのか。

事務局

資料15によると0.11%が改定率になる。

議長

これからどのように審議会を進めていくか、事務局から説明を。

事務局

前回の審議会では、報酬等と退職手当のうち、報酬等に対する審議を先にさせていただいた。市長・副市長の給料の額と議長・副議長・議員の報酬の額の2つの区分に分け、それぞれについて引き上げ・据え置き・引き下げのいずれかの方針を決定し、引き上げまたは引き下げの場合は具体的な金額を決定するという流れで審議を行った。その後に市長・副市長の退職手当の額をどうするのかということと、改定の実施時期、附帯意見の順で審議いただいた。

また、今回の諮問にあたっては、前回は参考に、本日を含めて3回ないし4回ほど審議会を開催し、答申をとりまとめただけだと考えている。

来年度の予算に反映させる関係や議会への提案のタイミングから、平成30年4月から改定する場合には、1月下旬が答申の期限と考えている。

議長

それぞれの報酬等について、引き上げ・据え置き・引き下げという3つの選択肢があるが、据え置きの場合は答申の期限はないか。

事務局

条例の本則には影響はないが、特例で減額措置を行っているため、据え置きの場合でも結論は早いほうが良い。

委員

1月下旬までに3回ないし4回の審議となると参加が厳しくなる。中身を濃くして2回または3回と、回数を少なくして審議をできればと思う。

委員

前回は何回審議を行ったのか。

事務局

全部で4回行っている。ただし、3回目までにはほぼ意見集約されており、4回目は答申書の文言の確認と市長への答申を行ったため、ほとんど審議は行われなかった。

議長

ただいま意見があったように、なるべく濃い形で意見を集約できれば、という考えでよろしいか。次回はおそらく年明けになると思うが、1月末の答申というのを考えるとななるべく密度の濃い議論していきたい。審議の流れについては、事務局から説明があったような流れで進めていくということによろしいか。

(異議なし)

議長

それでは、次回のスケジュールを決めたいので、会議を一時中断する。

(第2回審議会は平成30年1月9日午後1時30分からに決定)

議長

それでは、会議を再開する。

どういう方向性を持たれば良いのかということ、一人ずつ意見を伺いたいと思う。市長・副市長の報酬等について、方向性としては上げる・据え置き・下げるという3つの選択がある。とりあえず今の段階で、資料に基づいてどういう考えがあるかということをお聞きしたいが、よろしいか。

(異議なし)

委員

今の説明の中で市の財務状況もかなり良い状況にある。ただ懸念するところとして、どこも同じだが人口減少というのがちょっと課題になると思っている。少子高齢化ということで、弘前もそこにかかる経費は膨らんでいくのかなと思うが、市を代表する最高責任者というのを考えれば、若干引き上げをしていただきたいと思います。

委員

前回は引き上げということに決まったが、今回もまた引き上げということだと市民の理解を得られないかと思う。それで私は据え置きが良いと思っている。状況が良くなっているとはいえ、まだ一般の市民のほうにはなかなか恩恵が受けられていないというのを考えれば、据え置きが妥当かと考える。

委員

やはり人口減少問題というのが全国各地で起こっている中で、歳入歳出の状況は資料を見れば過去の状況は良く分かるが、5年後、10年後の未来を見たときに、厳しい情勢が続くのではないかということ踏まえれば、据え置きかもしくは引き下げの方向で行きたいと考えている。また、副市長に関しては、この資料を見る限り他の市より若干高いような気がするので、その辺を踏まえて、話し合いを進めていきたいと考えている。

委員

議員のほうも、前に大幅に人員を削減しているはずであるし、人口減とかいろいろあるわけだが、そういう中で議員自らも努力しているのは我々も知っているわけで、定員削減したということで厳しい選挙で上がってきているという議員の方もいるわけなので、上げるのであればみんな一緒、据え置きであればみんな据え置きという結論が一番流れるに良いのかなど。私はまだ上げたほうが良いのか、据え置きかは判断しかねているが、同じ判断で議員までやったほうが流れるに良いのではないかと考えている。

委員

国内状況そのもので行けば、普通の会社で賃上げの状況にあると思っている。今年もまたそれなりに賃上げがなされるのではないかということ考えると、少しでも引き上げするのが良いのではないかと。市長・副市長の役割そのものから考えれば、この活動状況なんかを見ると、休日に色々なところへ相当出ているので、そういうことを考えると、金額の多寡は別にして、引き上げするのが良いのではないかと考えている。

委員

市長・副市長は祭日とか時間関係なく頑張っているの、少くくはと思っています。

議長

どういう方向性かということを確認したところ、引き上げという意見の方が3名、据え置きというのが1名、据え置きまたは少しでも引き下げたほうが良いのではないかとというのが1名、市長・副市長並びに議員・議長・副議長の全員が上がるのであれば上がる、下がるのであれば下がるという同じ方向性で行って欲しいという方が1名という意見でよろしいか。

(異議なし)

議長

続いて、議長・副議長・議員について同じように方向性をお尋ねしたい。

委員

議会においてもかなり努力しているという思いがある。先ほど、クリーンな議会活動ということで、議員そのものもかなり自分の立場というものを認識されているなど感じる。これから厳しい社会に向かっていくときに、議員も今以上に努力していただかなければならないし、市政をチェックするということをしっかりやっていただきたいということを考えれば、若干の引き上げをしても良いのではないかと考えている。

委員

前はそのままということであったため、議員の方は少し上げたほうが良いと感じる。

委員

前回、据え置きだったため、今回は少しでも上げる方向で考えたほうが良いのではないかと考えている。

委員

全国で議員不足というニュースを聞く。ここは大きい市なので、そういう心配は当分ないと思うが、本業を持った政治家だったらなんとかなると思うが、この額を見ても源泉されて、手取りはだいぶ減るかと思う。今は議員年金もなく辞めた後の保障もない中で、国民年金を納めながら頑張っているというのを見れば、市の財政状況が破綻的だとなれば別だが、資料を見るとそういう状況でもないということを考えれば、4年間据え置きというのは若干不遇なものだなと。少しでも見てあげたほうが良いのかなという考えである。

委員

金額の多寡は別として引き上げするのが良いのではないかと思う。議員定数も少なくなり、議員の皆さんも活動範囲が広まっていると、自分の手持ちの中での活動が広がっていると思う。その面も含め、引き上げということかどうかと思う。

委員

引き上げで。

議長

議長・副議長・議員については引き上げという方向だということ承った。

それでは、市長・副市長については意見が割れているが、数からいくと、今日お二人が欠席されていて意見を伺えないが、引き上げが3名となった。

議長

(市長・副市長について判断を保留した委員に対して) 市長・副市長と議員は一緒の方向性ということでしたが、議員については引き上げで表明されたので、市長・副市長も引き上げという考えで良いか。

委員

ええ、そうです。議員を上げるのであれば、市長・副市長のほうも上げていただきたい。

議長

そうすると、市長・副市長の引き上げは4名ということなる。最終的には全会一致という形で方向性を集約できれば一番良いわけだが、今日の意見は保留し、次回、皆さんの気持ちを伝えたくて本日欠席のお二人の意見も聞いて、答申という形で持っていければと思う。今日はとりあえず皆さんの意向表明を承ったということにさせてもらえればと思うがいかがか。

(異議なし)

議長

では次回にお二人を交えて答申方向を決定し、金額も、ということで行きたいと思う。今のところ流れとしては、市長・副市長、議員も含めて引き上げという方向性であるが、このタイミングをいつ頃からとするかをお聞きしたいと思う。タイミング的には3月議会に上程か、6月議会に上程かということになる。普通であれば3月議会に上程すると。今のところであれば間に合う。

3月議会に上程して4月1日からの実施という方向で良いかどうかをお聞きしたいと思う。最終的には欠席のお二人を交えて決定するが、せっかく皆様にお集まりいただいているので、できればそこまでお話しいただきたい。

委員

引き上げだったら新年度からが良い。

委員

私も4月からということで。引き上げの場合は、6月議会であっても、遡ってできるはずなので、4月1日ということで意見を述べさせていただく。

委員

同じです。

委員

私も4月1日が良いかと思う。

委員

同じです。

委員

同じく4月1日で。

議長

上げるのであれば4月1日という皆さんのご意見なので、そういった方向性を持ってできればということで。

大分時間も過ぎたので、もしよろしければ今日は先ほど言ったような皆さんの方向性を伺ったということで、ここで閉じさせていただきたいと思うがいかがか。

(異議なし)

議長

今日はこれで閉じさせていただきたいと思う。

それでは次回は、1月9日火曜日、13時30分からということで、是非ご出席を賜れるようお願いしたい。残りのお二人には事務局から事情を伝えていただき、是非ご参加いただけるようにしていただければということでお願いしたい。

委員

案内のほうはまたあるのか。

事務局

場所も含めて開催通知を差し上げる。

議長

これで今日の会議は閉じさせていただきます。
今日はありがとうございました。

【15:45 散会】